

|   |   |
|---|---|
| <b>活動名</b><br>府中町子ども応援隊（小学生～幼児達との親子のふれあいを大切にする子育て）  | <b>団体名</b> 府中町子ども応援隊<br><b>地域</b> 広島県安芸郡<br><b>代表者</b> 府中町ボランティア協議会会長 篠永 廣也<br><b>支援金額</b> 15万円 |
| <b>活動概要</b><br><p>府中町地域の乳幼児から小学生の親子を対象にした子育て応援のボランティアです。子ども応援隊のグループは、下記のような役割を分担し活動をしています。</p> <p>①「布絵本」・「布の遊具」は、会員が創意工夫して手作りで作成</p> <p>②おもちゃの診断修理・絵本の読み聞かせ・子育て親子とのふれあいの場所づくり<br/>手作りおもちゃ等で遊びながら仲間との輪をひろげる。</p> <p>③子ども応援隊のイベント<br/>         イ.「府中町ふれあいん祭—作って遊んでふれあいんさい」<br/>         ロ.「クリスマス会 ～楽器を作って アンサンブル♪～」</p> <p>◆実施時期<br/>         2011年4月1日～2012年3月31日<br/>         府中町ふれあい福祉センター・老人福祉センター福寿館(隣接)</p> <p>◆参加人数<br/>         1.グループ単位の活動      参加人員1,720名（ボランティア950名 参加者770名）<br/>         2.子ども応援隊イベント      参加人員 255名（ボランティア 52名 参加者203名）</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 1,975名</p> |   |



ペーパーシアター「スイミ」開演を待つ参加者  
大きなお魚を完成させる作業にも参加しました！



ペーパーシアター「スイミ」上演  
色々な道具を使い体を動かし、子どもたちも大喜び



クリスマス会、自作楽器で演奏



クリスマス会、生演奏で歌う子どもたち

#### ◆実施に伴う効果

- ・ マツダ財団の助成金をいただいたことで、今までのふれあい祭では各グループが細々と展示や遊びコーナーを開いていたのと大きく変わって「ペーパーシアターたね工房」に来ていただき、子ども達も大人も、とても楽しめました。各グループの活動も活発化し、それぞれ趣向を凝らしたコーナーが出来ました。
- ・ クリスマス会の手作り楽器の材料は、新聞紙や牛乳パック、ラップの芯、洗剤の計量スプーン、ペットボトル等です。作って遊んで壊れても「またすぐ家でも作れるね」と参加者から、とても好評でした。

#### ◆苦勞した点

今まで各グループ単位の活動でしたが、子ども応援隊コラボについては、イベントの準備、打ち合せの時間や日程調整が大変でした。

「府中町ふれあい祭—子ども応援隊特別イベント」  
「ペーパーシアターたね工房」に依頼したため、ポスターの作成等で全町内会に配布願う親子での参加者が大勢で企画は成功でした。

「子ども応援隊クリスマス会」  
ふれあい祭の参加者は年齢層が広くて少し集中しにくいという反省からクリスマス会は、就学前の幼児を対象を絞り企画しました。すると今度は参加応募の伸び悩みで、声かけ作戦で何とか人数が集まりました。前日までに2組の親子さんのキャンセルがありましたが、当日はキャンセルもなく、冬場の子ども関連のイベントでは、すごいことだねと喜ばれました。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

- ・ 子ども応援隊の活動と各クラブ活動を無理なく並行していくために、早めの準備計画と各グループのメンバー間での共有をしっかりとしておくことが必要だと思います。
- ・ 「子育て支援ならまかせて！」「子育てするなら府中町で！！」と自信を持って言えるよう仲間を増やしながらかつ活動していきたいです。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

- ・ 支援いただいたことで、ダイナミックなイベントが出来ました。
- ・ 役割分担では、電話一本での出演交渉をして不安もありましたが、忙しい中来ていただき感謝するとともに、とても勉強になりました。
- ・ 打ち合せや準備のための作業など忙しかったけど、気分転換にもなりチームワークも感じられて楽しかったです。
- ・ 子ども達のキラキラした笑顔や母親と父親の参加も多く、やって良かったと思いました。
- ・ 大成功でした。

上記のような感想が、スタッフの口からあふれるように飛び出しました。  
本当にご支援いただきまして有難うございました。